

令和7年度板橋区区民意識意向調査結果の概要について

企画総務委員会資料
令和7年9月25日
政策経営部政策企画課

I 調査の概要

1 目的

区民の住みやすさや定住意向、区への愛着・誇りのほか、区の施策に対する意識・意向などを広く把握し、現行の「板橋区基本計画2025」を総括するとともに、「次期板橋区基本計画」策定に向けた基礎資料とすることを目的として実施。

2 概要

調査対象 ⇒ 板橋区に居住する満18歳以上の区民 3,000人
抽出方法 ⇒ 住民基本台帳から層化二段無作為抽出
調査方法 ⇒ 調査票を郵送し、Webページまたは郵送による回答
調査期間 ⇒ 令和7年4月25日（金）～5月16日（金）
調査項目 ⇒ 区での住み心地、今後力を入れるべき分野 ほか 全49問

3 回収結果

回答数：1,275件/3,000件 回答率：42.5%
うちWeb：605件（回答全体に占める割合47.5%）
郵送：670件（回答全体に占める割合52.5%）
(前回)回答数(率)：1,178件(39.3%)
うちWeb：489件（41.5%）
郵送：689件（58.5%）

II 調査結果の概要

1 区の住み心地（本編P11～P86）

① 住みやすさ（n=1,275）



95.3%
『住みやすい』
(前回:95.1%)

●近年95%超をキープ

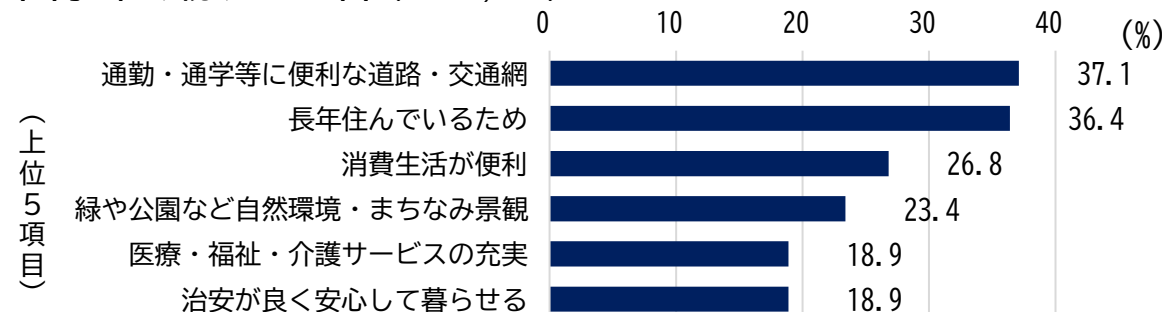
② 定住意向（n=1,275）



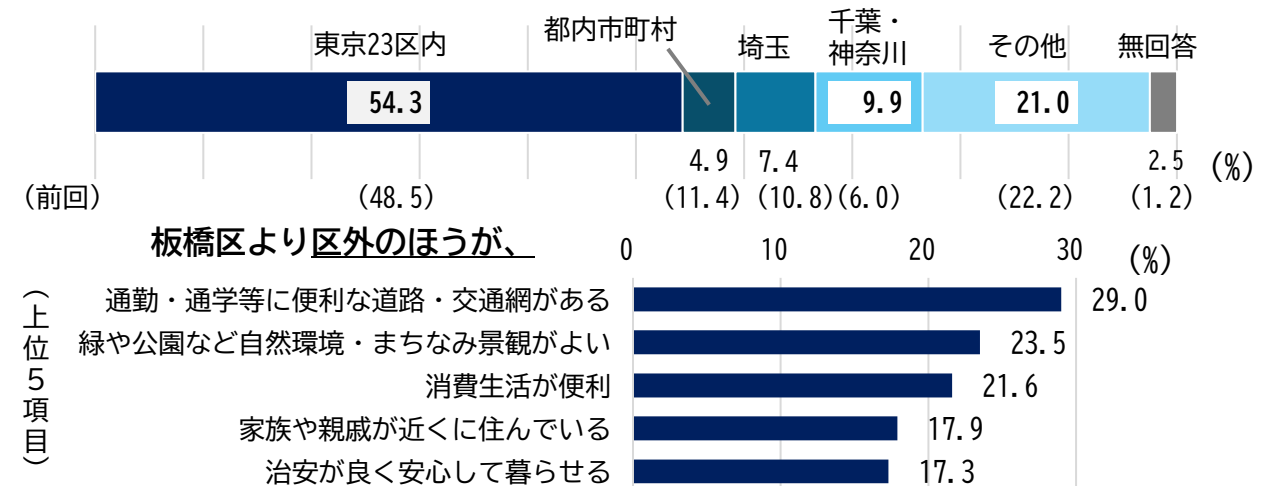
86.4%
『今後も区内に住み続けたい』
(前回:83.9%)

●初の85%超え、過去最高値

③ 区内に住み続けたい理由（n=1,101）



④ 区外に移り住むとしたら住みたい地域と理由（n=162）



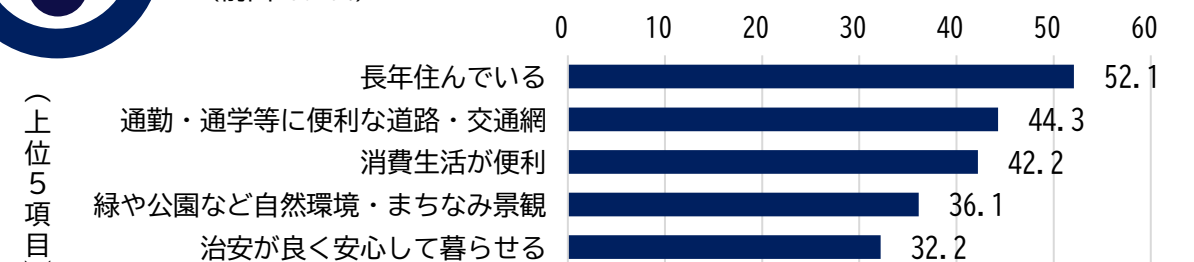
移り住みたい地域別でみると

- 「通勤・通学等に便利な道路・交通網がある」は東京23区内に移り住みたいと答えた方で第1位
- 「緑や公園など自然環境・まちなみ景観がよい」は千葉・神奈川県、その他の自治体に移り住みたいと答えた方で第1位

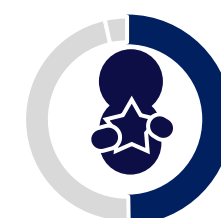
⑤ 区の暮らしに愛着を感じる割合と理由（n=1,275）



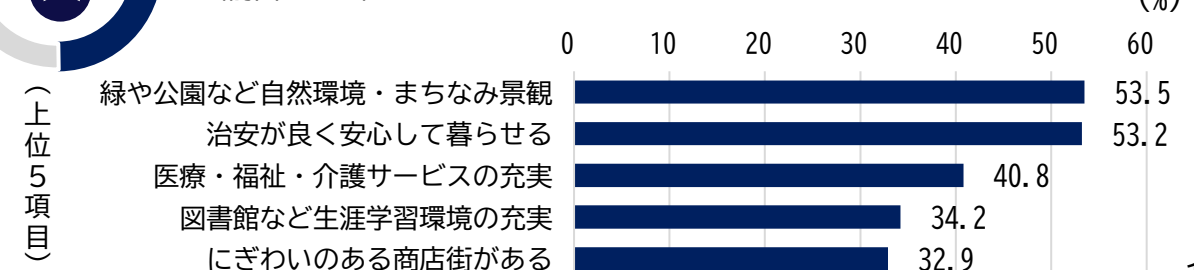
84.1%
『愛着を感じる』
(前回:80.3%)
●上昇傾向が継続し、過去最高値



⑥ 区の暮らしに誇りを感じる割合と理由（n=1,275）



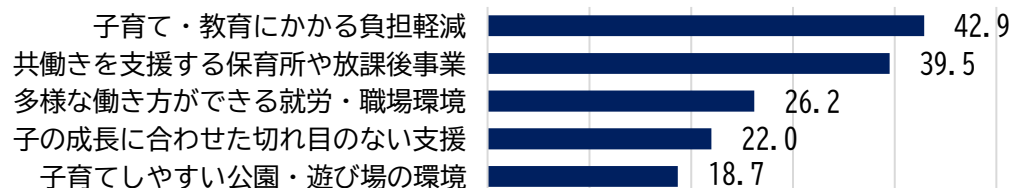
49.8%
『誇りを感じる』
(前回:47.3%)
●上昇傾向が継続し、過去最高値
●初めて『感じる』が『感じない』を上回る



2 未来へつなぐまちづくり（本編P87～P100）

① 少子化対策や子育て世帯の定住化に重要だと思うもの（n=1,275）（%）

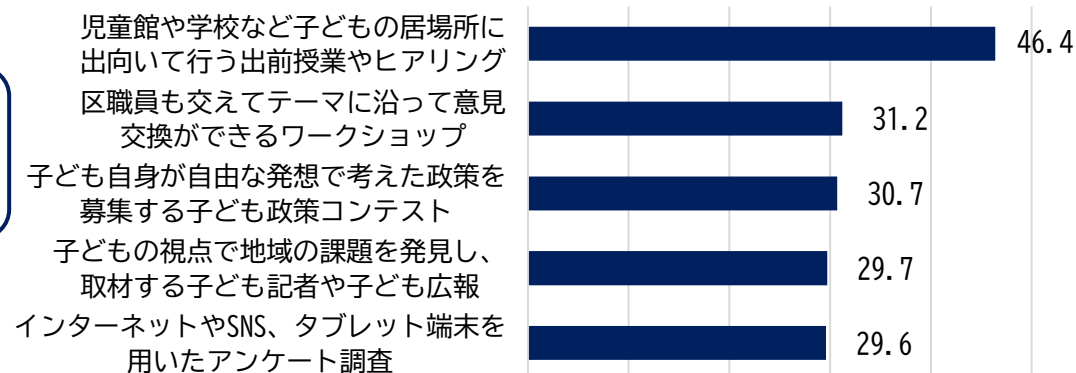
（上位5項目） 0 10 20 30 40 50



- 「子育て・教育にかかる負担軽減」が40歳代以下で第1位
- 「共働きを支援する保育所や放課後事業」が50歳代以上で第1位

② 子どもが区に対して意見を伝えやすい方法や手段（n=1,275）（%）

（上位5項目） 0 10 20 30 40 50



- 「子どもの居場所で行う出前授業やヒアリング」がすべての世代で第1位
- 「インターネット等でのアンケート調査」が64歳以下の世代で第2位

③ 超高齢社会において重要だと思うもの（n=1,275）（%）

（上位5項目） 0 10 20 30 40



- 「介護保険制度の充実・適正化」が65歳以上で第1位、「見守りや孤独対策」が30歳代以下で第1位、「高齢者就労支援」が40～64歳で第1位
- 「終活サポート」が、18～20歳代で第2位、30歳代で第4位

④ 循環型社会の実現に向けて重要だと思うもの（n=1,275）（%）

（上位5項目） 0 10 20 30 40



- 「ごみ・食品ロス減」「自然の保全・再生」が全年代で第1位または第2位

3 区のブランドに関する取組（本編P101～P109）

① 区が取り組んでいるブランドについての認知度（n=1,275）（%）

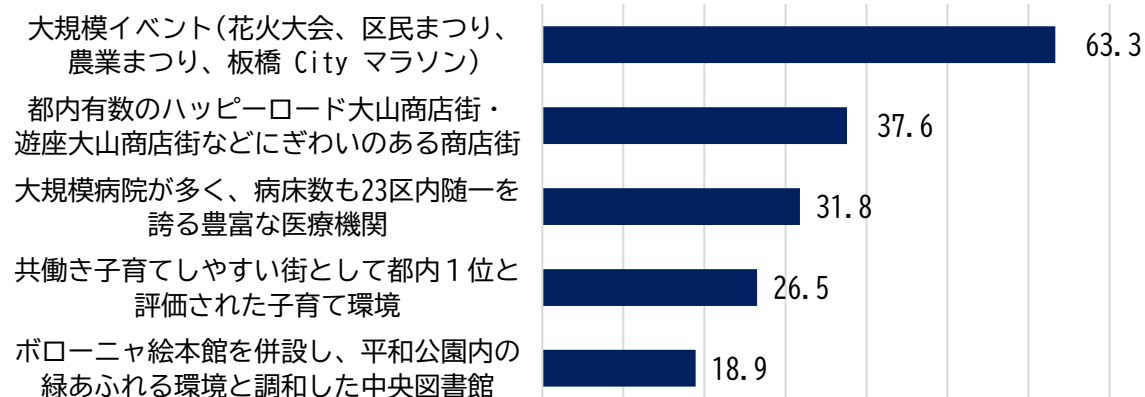
（上位5項目） 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90



- 「絵本のまち板橋」の取組が、18～20歳代で第4位、30歳代で第3位
- 「児童館、赤ちゃんの駅、あいキッズ等の子ども施策」が30歳代で第4位

② 区のブランドになりうると考えるもの（n=1,275）（%）

（上位5項目） 0 10 20 30 40 50 60 70



- 「にぎわいのある商店街」が64歳以下で第2位
- 「都内1位と評価された子育て環境」が、40歳代以下で第3位
- 「こども動物園や赤塚植物園、水車公園等の特色ある公園」が、30歳代で第5位、75歳以上で第4位

③ 絵本のまち板橋を推進する取組（n=1,275）（%）

（上位5項目） 0 10 20 30 40 50



- 「絵本を身近に感じられるイベント」が、40歳代以上で第1位
- 「絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組」が18～20歳代、40歳代で第1位
- 「子育て世帯が楽しめるイベント」が30歳代で第1位

4 デジタル化に向けた取組（本編P110～P116）

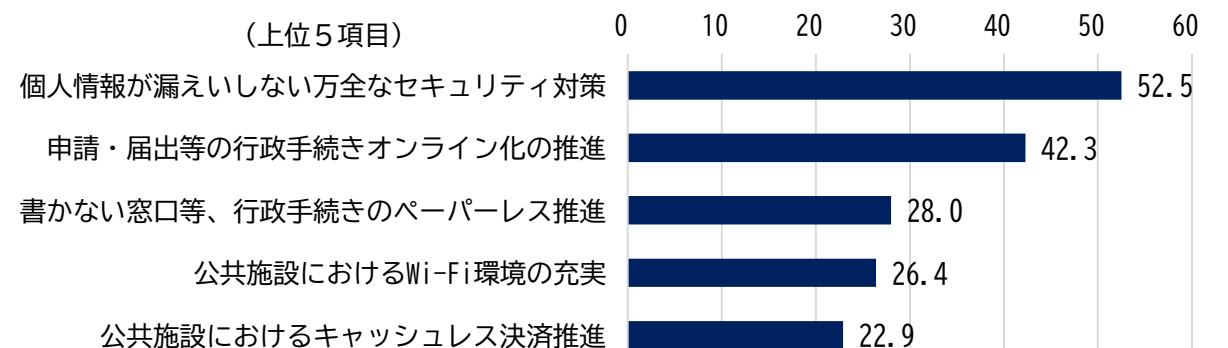
① 区のデジタル化の進み具合（n=1,275）



59.5%
『進んでいる』
(前回:49.5%)

- 年代別、同居家族別のすべての属性で50%超え
- 年代別では30歳代で70.1%
- 同居家族別では小学生と同居する世帯で67.3%、中学生と同居する世帯で66.2%

② 行政サービスのデジタル化を進めていくにあたり重要だと思うもの（n=1,275）



- 「申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進」が40歳代以下で第1位
- 「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が65歳以上で第2位
- 「マイナンバーカードの普及活用」が65～74歳で第5位、75歳以上で第3位

③ オンラインサービスを利用するうえで利便性向上のために必要なこと（n=1,275）

下図左から

- | 項目 | 割合(%) |
|---------------------------|-------|
| オンライン申請できる手続きの充実 | 23.3 |
| わかりやすい案内と使いやすいウェブサイト | 23.6 |
| 入力項目が少ない等簡素化された申請フォームと手続き | 13.1 |
| オンラインでの相談・問い合わせ機能 | 2.6 |
| 安全で簡便な本人確認方法 | 5.6 |
| 複数手続きのワンストップサービス | 3.9 |
| 個人情報保護とセキュリティ対策の強化 | 19.5 |
| その他 | 1.3 |
| 無回答 | 7.0 |

- 「オンライン申請できる手続きの充実」は、64歳以下で第1位
- 「個人情報保護とセキュリティ対策の強化」は、65歳以上で第1位

5 情報発信（本編P117～P122）

① 区からの情報の伝わり具合（n=1,275）



32.6%
『伝わっている』
(前回:31.9%)

- 年代が高いほど、『伝わっている』割合が高い
18～20歳代：22.5% ⇔ 75歳以上：49.6%

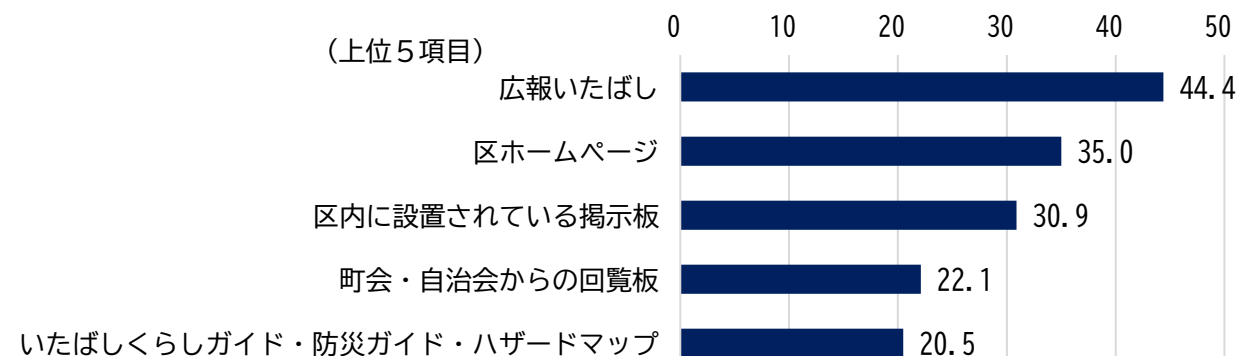
② 区からの情報が伝わっていないと思う理由（n=326）

下図左から

- | 理由 | 割合(%) |
|--------------------|-------|
| 情報を収集する時間がない | 21.5 |
| 情報を得る手段がわからない | 48.8 |
| 情報は収集しているが内容がわからない | 9.2 |
| 区政に関心がない | 16.9 |
| 無回答 | 3.7 |

- 「区政に関心がない」は、18～20歳代で29.3%で約3割
- 「情報を得る手段がわからない」は、65歳以上で71.8%で7割超

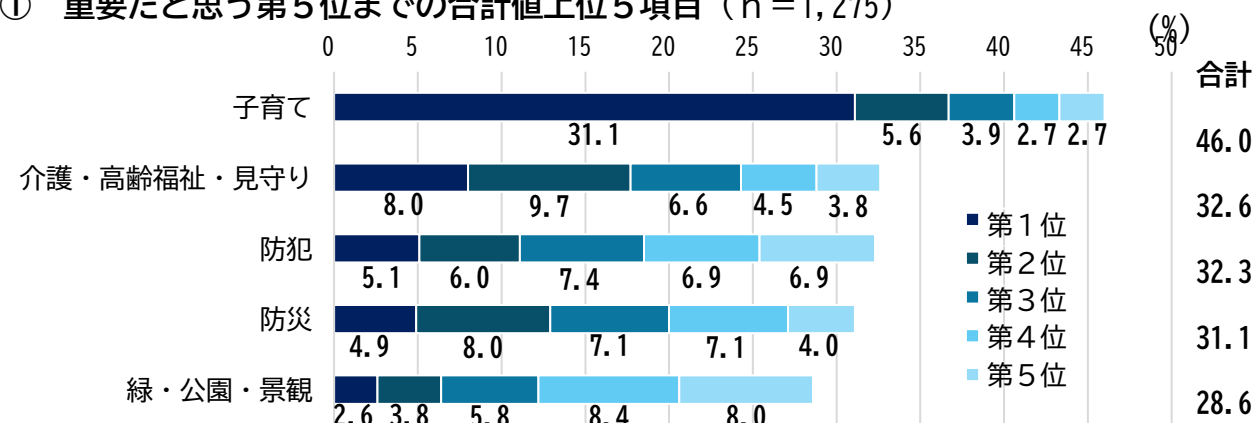
③ 区の情報の入手方法（n=1,275）



- 「広報いたばし」は、50歳以上で第1位
- 「区ホームページ」は、40歳代以下で第1位
- 「区内に設置されている掲示板」はすべての年代で第2位または第3位

6 今後力を入れるべき分野（本編P123～P124）

① 重要だと思う第5位までの合計値上位5項目（n=1,275）

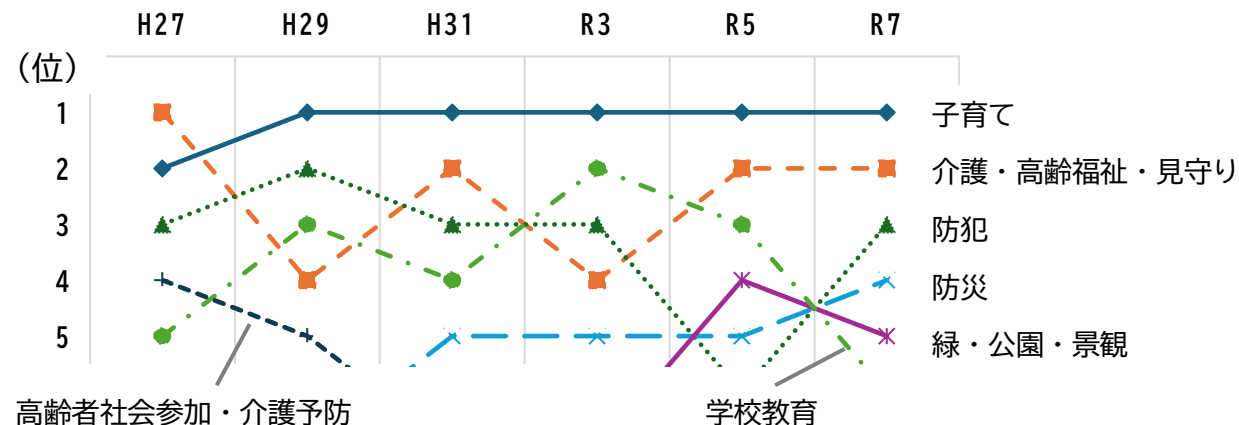


- 「子育て」が、64歳以下で第1位
- 「防災」が、65～74歳で第1位、「介護・高齢福祉・見守り」が75歳以上で第1位
- 「学校教育」が30歳代以下で第2位、40歳代で第3位
- 「交通安全（自転車対策等）」が75歳以上で第5位

② 重要だと思う第5位までの合計値上位10項目の年齢分布（n=1,275）



③ 重要だと思う分野の経年変化



7 区の各政策分野（本編P125～P208）

板橋区基本計画2025、個別計画、行政評価において指標に設定されているものを掲載

項目		今回(%)	前回(%)
①子育てのしやすさ		46.0	40.6
②子どもたちのたくましく生きる力		30.9	29.5
③健康のために普段から対策を行っている割合		95.8	94.2
④運動・スポーツの頻度（週に1回以上）		59.2	57.4
⑤過去1年の間に文化芸術にふれた割合		84.0	79.5
⑥過去1年間で外国人とコミュニケーションがあった割合		58.7	51.5
⑦戦争体験を語り継ぐことが大切だと思う割合		94.1	92.6
⑧いたばし花火大会の満足度		82.4	78.3
⑨板橋区民まつりの満足度		68.8	66.9
⑩区内の身近な商店街に好意的な印象を持っている割合		59.6	54.4
⑪自然環境に対する満足度※	量的	62.4	55.8
	質的	54.5	48.1
⑫公園・緑地の整備に対する満足度※	量的	55.8	49.0
	質的	51.9	43.8
⑬災害情報の収集環境を確保している割合		88.3	86.5
⑭災害時に備えて家庭内での対策を行っている割合		91.0	83.6
⑮治安が保たれていると感じる割合		65.3	65.3
⑯ユニバーサルデザインの認知度		71.2	64.5
⑰ユニバーサルデザインの取組が進んでいると思う割合		24.0	21.2
⑱電車やバスの利用しやすさ		72.2	72.2
⑲景観が美しいと感じる割合		37.3	30.5

- 指標のほとんどが上昇、上昇していない指標も横ばいで推移

Ⅲ 結果の活用

本調査結果を様々な角度から分析することによって、より詳細に区民ニーズを把握し、各種行政サービスの向上・改善に結びつけていくとともに、現行計画の総括および次期総合計画・各行政計画の策定・推進においての資料として活用していく。

Ⅳ 調査結果の報告・公表

- 9月 区議会へ報告後、公表（ホームページ、区政資料室、区立図書館等）
- 10月 広報いたばし（10月25日号）掲載予定